



こんなことあったよ！ のしろ白神ネットワークの活動レポート

令和6年9月11日(水)

木の香るみちづくり 秋田自動車道・秋の植栽 編

酷暑が若干やわらいだかも？と感じられるこの日、春に植栽した*108鉢の植え替えを行ないました。秋田自動車道上りの八郎湖サービスエリア(以下, SA)を午前10時にスタート, 上下線の太平山オーキングエリア(以下, PA)を経て, 14時半過ぎに下りの八郎湖 SA で作業を終えました。NEXCO 東日本秋田管理事務所から松田さんと2人の方が, 株花まりさんからは代表の中川さんとスタッフの方お1人が参加して下さいました。

春と秋の連休前, 年2回のこの活動は, 秋田自動車道横手IC~秋田南IC間供用開始25周年記念事業のひとつとして平成28年から続いています**。日差しが強く乾燥しやすい, 午前中にしか水やりができない, こまめな手入れができないなど, 無人のSA, PAならではの悪条件を抱えながらも, 暑さや乾燥に強く, なるべく花持ちの良い花苗を選ぶようにしています。

この日は清掃班2名がホースで水をかけながら, ハニカムプランター内外の泥や枯れ葉, ナメクジを綺麗に洗い流しました。植え替え班4名は, 酷暑で枯れた花苗を抜き, 猛暑に耐えながら伸びきってしまったシロタエギクやユーフォルビアは, これからの成長に期待して大胆に切り戻しました。

全国的な猛暑で花苗の入荷が少なく, 種類も限られている中, 花まりさんは, 寒くなると鮮やかさが増す「赤葉センニチコウ」や花と見間違えるほど大きな赤い葉が特徴の「コリウス」, 花期の長いナデシコなどを用意して下さいました。これらを丁寧に植え付け, 肥料も追加しました。

気温が下がるにつれて色鮮やかさを増す花たちが, 降雪までの2ヶ月半, きれいに咲き続けてくれると良いですね。

文: 渡辺 千明

* 令和6年4月22日の活動レポート参照

** 平成28年4月6日の活動レポート参照



清掃班と植え替え班に分かれて作業を進めます(上)。
春の植栽は酷暑で見ても無残な姿に。そんな中でも何とか生き延びようとしている植物には「良く頑張ったね」と声をかけたくなります(下)。



限られた数ながら秋らしい色合いの花が集まりました(上)。
色味や上下の変化を考えながら, 鉢を入れ替え, 並べました(下)。